



ごみ処理量の推移

ごみ処理量の推移 (単位：t)

		2月	3月	4月
可燃ごみ		779	952	930
内訳	収集	362	421	430
	直接搬入	265	337	298
	下水汚泥ほか	152	194	202
資源ごみ		59	118	48

※四捨五入の関係で合計が一致しない場合があります

2月から4月にかけてのごみ処理量は、表のとおりとなりました。みなさんには、引き続きごみ減量への取組みにご協力をお願いいたします。生ごみは、ダンボールコンポスト・生ごみ処理機で堆肥化することができ、可燃ごみとして出す時は、水切りにご協力をお願いします。

郡上市の人口はこの10年間で約15・5%減少しました。一方、可燃ごみは約4%の減少にとどまり、1人あたりの年間排出量は

およそ24.2kgに達しています。

郡上市のゴミ処理施設である郡上クリーンセンターは、年間運営費が7・3億円、焼却炉の灯油代だけで約1・2億円を占めています。同施設は、供用開始から約20年を迎え、他市との広域連携や外部委託による処理などを目指した更新計画を進めています。広域連携となった場合、可燃ごみの排出量は、運搬費用に直結します。ゴミの量が減ることで費用は軽減します。

また、資材価格の高騰と化石燃料の供給不安定さを背景に、ごみ袋の作成にかかる費用も上昇し、価格転嫁を避けるために昨年度の発注分から材質を変更しました。その他、ごみ処理には運搬費など様々な費用がかかります。ごみを減らす取組みは、市民の負担軽減にも直結する重要課題です。ごみ減量化に向けたみなさんのご協力をお願いします。

生ごみは堆肥化して減らしましょう

家庭から出る可燃ごみの約40%は生ごみです。生ごみは水分が多く、悪臭やコバエ等の発生源となりますので、しっかりと水気をきってからごみ袋に入れてください。

また、生ごみは堆肥化や乾燥させることで減らすことができます。ダンボールコンポストや生ごみ処理機を取り入れてみてください。

コンポスト基材「さくさくコンポ」を販売しています

・ダンボール箱セット600円 (箱がなくなり次第、セット販売は終了します)

・基材のみ 550円

「さくさくコンポ」は、市内で排出される菌床シイタケ廃菌床ともみ殻くん炭を原料にした、郡上市産のオリジナルコンポスト基材です。社会福祉法人ぶなの木福祉会ともいきの里東弥の利用者さんが作っています。

生ごみ減量化機器等の購入補助金があります！

電気式の生ごみ処理機やコンポスト容器の購入費用に対する補助を、令和8年度も継続します (予算がなくなり次第終了します)。

【補助金額】

コンポスト容器 購入費用の半額 (上限3000円)

電気式生ごみ処理機 購入費用の半額 (上限3000円)

【申請方法】

機器を購入後、申請書に領収書を添えて生活環境課または各振興事務所へ提出してください。

申請書は市ホームページから入手できます。



生ごみ減量化機器補助金

小紙片もリサイクル可能です

現在取り組んでいただいている紙のリサイクルですが、メモ紙や封筒のような小さい紙についてもリサイクル可能です。縛れないくらいの小さな紙については、中身の見える45L以下の透明なビニール袋に入れて古紙の収集日に各収集場所に出していただくか、郡上クリーンセンター・エコプラザへお持ち込みください。

特定外来生物(オキケンイギク)の駆除にご協力を

この地域にもともと生息しておらず他の地域から持ち込まれた生物で、生態系や人の生命、身体、農林水産業へ影響を及ぼす恐れがある特定外来生物(植物)のうち、オキケンイギクが市内の広範囲にわたって繁殖しています。この植物は、花の直径が5〜8cmあり、5月から7月頃にかけてコスモスに似た黄色の花が咲きます。特定外来

生物は繁殖力がとても強く、駆除を進めなければ生息範囲を広げていくことから、生物多様性の保全のため、特定外来生物の駆除にご協力をお願いします。



たいせつな水道守ろう 未来へと

6月1日から6月7日まで、「たいせつな水道守ろう 未来へと」をスローガンに、第68回水道週間が実施されます。水のトラブルや災害に遭遇して初めて水の出ない不便さや、水道の有り難さに気付くものです。

この水道週間に機に、各ご家庭で「備蓄水の確認」「漏水の確認」「止水栓の位置の確認」をしてみましょ。

問 上下水道課 67・1129

水道週間
令和8年6月1日(日)～6月7日(日)

未来へと

たいせつな水道守ろう

出典 (公社) 日本水道協会